

# 文部科学省における地球環境科学技術分野の推進

## 背景

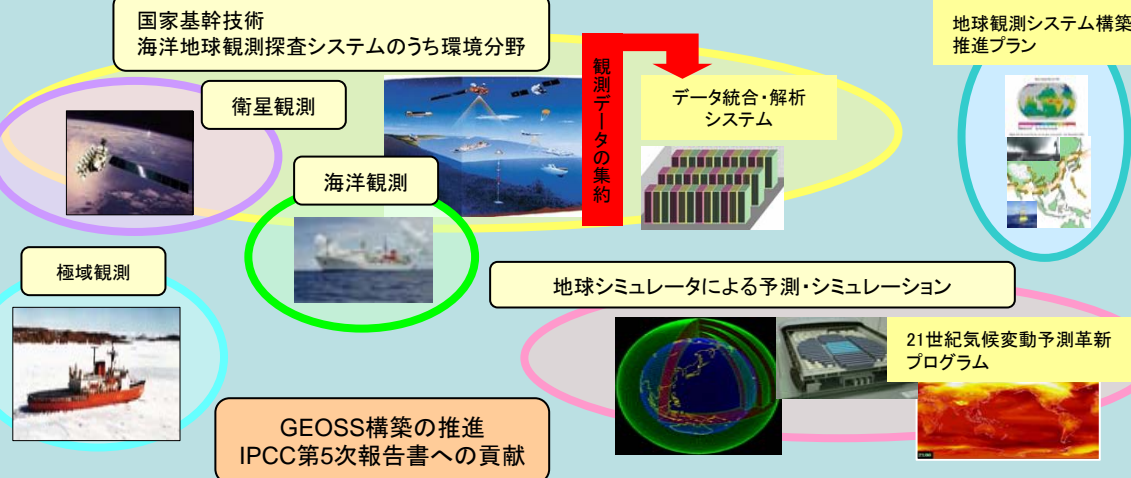
- **地球観測サミット(平成15年～)**: 小泉総理が提唱したG8エビアンサミット(平成15年6月)をふまえ、計4回開催(2回目は東京)。全球地球観測システム(GEOSS)10年実施計画を策定。第4回は平成19年11月南アフリカケープタウンにて開催され渡海文部科学大臣が出席。
- **G8ハイリゲンダムサミット(平成19年6月)**: 安倍総理からの「美しい星50」の提案を受けて、世界全体の温室効果ガス排出量を2050年までに少なくとも半減することを真剣に検討する旨合意。  
また共同声明において「我々は、全地球観測システム(GEOSS)の開発において、引き続き指導力を発揮する。」ことが言及された。
- **IPCC(気候変動に関する政府間パネル)**: 2007年2月～5月にまとめられた第1～第3作業部会の報告書を分野横断的にとりまとめた、IPCC第4次評価統合報告書を11月17日に採択。この成果を踏まえつつ、その後の研究成果に基づき、第5次報告書策定を進め、2013年頃の完成を目指す。
- **科学技術外交の強化**: 長期戦略指針「イノベーション25」(平成19年6月閣議決定)において、早急に取り組むべき課題である環境・エネルギー等日本の科学技術力による成長と国際貢献への取組として科学技術外交の強化が示された。

## 地球温暖化をはじめ地球環境問題の把握・予測等の地球環境科学技術の推進

### 文部科学省の主要プロジェクト

#### 気候変動等の観測・予測研究

- ◆ 地球観測に関する政府間会合(GEO)「GEOSS10年実施計画」に対する我が国の貢献及び総合科学技術会議「地球観測の推進戦略」に基づく統合地球観測システムの構築
- ◆ 「地球シミュレータ」を活用した地球温暖化・気候変動予測モデル開発などによる地球変動予測研究の推進



#### 国際共同研究

- ◆ 我が国と地球環境問題を共有するアジア地域との科学技術を活用した国際共同研究の展開・推進

ODAとの連携を通じた科学技術外交の強化

ODAを活用した科学技術協カプロジェクト

アジア地域の災害対策と温暖化対策への貢献

#### 環境対策技術開発

- ◆ 環境問題の解決に資する科学技術の研究開発

JST戦略創造研究推進事業等

産学官の英知を結集して行う公募型プロジェクト研究

革新的環境科学技術の研究開発による環境問題解決への貢献